

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業評価シート										平成 28 年度事後評価・決算		所管課		健康管理課		担当班	予防班
事務事業名			コード	18600 健康相談・教育事業		予算科目		会計		款	項	目	事業種別	予防班			
						一般		一般		4	1	2	☒ 主な事業				
施策 体系	基本施策	5	保健の充実			根拠法令	健康増進法							☐ 国土強靱化地域計画			
	施策の展開	11	健康づくりの推進			戦略事業	50	健康相談・教育事業						☐ 新市建設計画			
	施策の展開					戦略事業								☐ 定住自立圏構想			
														☐ 主要事業			

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 昭和 58 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	①健康手帳の交付：自らの健康管理と適切な医療のため、特定健診・保健指導等の記録、その他健康に関する必要な事項を記載できる手帳を配布する。 ②健康教育：生活習慣病の予防、健康増進等に関する正しい知識の普及を図り「自分の健康は自分で守る」という認識と自覚を高める教室等を行う。 ③健康相談：心身の健康に関する個別の相談に応じ必要な指導及び助言を行う。 ④訪問指導：生活習慣病などの悪化防止など療養上の保健指導が必要であると認められる者及びその家族等に対して、保健師・栄養士などが訪問し必要な指導を行う。
③事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④事務事業に関する課題・環境の変化
老人保健法より開始し、平成20年度より健康増進法第17条に位置づけられている。	老人保健法から健康増進法に変更になった。生活活動量の減少や食生活の欧米化が進み、生活習慣病とその予備群が大幅に増加している。
⑤事務事業に対する住民からの意見等	
・「糖尿病についていろいろと学ぶことが出来た」「間食を控える」「学んだことを日常生活にも取り入れていきたい」等の意見があった。 ・教室終了後には、個別での相談等もあった。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (28年度の決算)		単位	千円	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)
1. 報奨金	60	健康運動教室講師謝礼	千円	80	80	80	60	120
2. 需用費	487	健康手帳、生活習慣病予防パンフレット等	千円	485	483	433	487	459
3. 役務費	46	一般健康相談通知等	千円	69	45	48	46	58
4. その他	0		千円	0	0	0	0	0
② 特定財源の内訳 (28年度の決算)		単位	千円	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)
1. 国庫支出金	0		千円	634	608	561	593	637
2. 都道府県支出金	186	健康増進事業補助金	千円	390	308	302	186	370
3. 地方債	0		千円					
4. その他	0		千円	244	300	259	407	267

前年度増減理由	重症化予防事業の一環でCKD(慢性腎臓病)に関するパンフレット等を作成したため
---------	---

従事職員数 常時 2人 最大 4人 × 51日 = 延べ 204人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

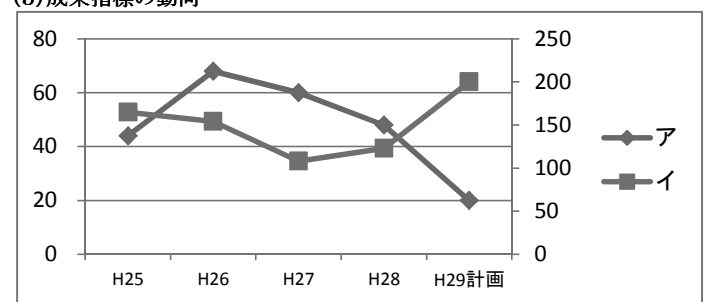
手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)
	28年度実績 (28年度に行った主な活動) ①健康手帳 ②健康教育 ③健康相談 ④訪問指導 ・H27～生活習慣病重症化予防事業を開始		ア 健康教育実施回数	回	633	335	250	357	200
			イ 健康相談実施回数	回	202	140	135	114	130
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)
	対象 市民 意図 市民の「自分の健康は自分で守る」という認識や自覚を高め、疾病を予防する。 対象意図		ア 一般健康相談の参加者数 (40歳以上～65歳未満)	人	44	68	60	48	20
			イ 運動教室の参加者数	人	165	154	108	123	200

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
			⑤	
	普通			
	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②			
	③			
	④⑤	(4)		
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	② 成果の状況	③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)
	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難 【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由) 一般健康相談と運動教室を組み合わせた結果説明会を実施したが、前年度と比較し、参加者が減った形となった。	成果指標ア 成果指標イ 成果指標のタイプ 数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下 数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 【コメント】(低下の場合、その理由) 健康相談開催数減に伴う参加者数の減少。	時期 8月～11月 内容 健診結果後の相談体制を見直し、一般健康相談と運動教室を組み合わせた結果説明会を計6回実施する。
		今後の方向性 ☐ 拡大 ☐ 現状維持 ☒ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他 () 平成29年9月～ 健診結果後の相談体制を見直し、一般健康相談と運動教室を組み合わせた結果説明会を実施予定。	